

2012

No. 287

9

誰もが、その人らしく、安心して暮らせる“福祉社会”をめざして!

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki

信楽園のコスモス(水戸市)

みんなの手で地域をつくらう



はんどちゃん

はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり福祉県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活用されています。

Contents

2 ～ 3

茨城発求職者支援強化事業
「ふれあって 暮らしをささえる
しあわせな 職業 どう?～ふくし職場～」
はじめました

特集

4

平成23年度 事業報告
平成23年度 一般会計決算状況

5

「第62回茨城県社会福祉大会」開催のお知らせ
潜在的有資格者再就職促進事業のご案内
福祉職場2012フェスティバルを開催
受審しましょう 福祉サービスの質の向上に向けて

6

新設福祉施設の紹介
わかち合おう小さな善意
茨城県はんどちゃんひとづくり研修等事業「施設職員等
研修ガイド」(平成24年9月～12月開催予定分)
はい!福祉相談です!

7

社協職員リレートーク
ボランティア活動保険

8

はんどちゃんネットワーク運動 サロン活動レポート
水戸市河和田町「いばらき保健福祉友の会」

茨城発 求職者支援強化事業

ふれあって 暮らしをささえる しあわせな 職業 どう？

「ふくし職働」始めました。

福祉・介護人材の課題

少子高齢化の進行や世帯構成の変化、国民のライフスタイルの多様化等により、福祉・介護ニーズは大きく変化している状況にあり、これらのニーズに対応する福祉・介護人材は、質・量の両面において一層の充実が求められています。

さらに、労働力人口が減少し、全産業的に労働力の確保が困難となっていくことが見込まれる中で、福祉・介護ニーズに円滑に対応できる質の高い福祉・介護の人材を安定的に確保していくことが喫緊の課題となっています。

福祉・介護人材の確保、そして定着へ

そのような背景から、茨城県福祉人材センターにおいても、福祉・介護分野の有効求人倍率は、年々増加の傾向（注）にあり、福祉施設・介護事業所の新設等による求人数の増加とともに、定着率の低さによる恒常的な人材不足となっています。

一方、景気の低迷などにより、他業種からの福祉分野を希望する求職者が増加傾向にあり、福祉分野の資格がなく、未経験の求職者が増えています。

そこで、この課題に着目し、福祉・介護分野への人材の安定的な確保とともに、その定着を支援することを目的に、「茨城発求職者支援強化事業 ふれあって 暮らしをささえる しあわせな 職業 どう？ ～ふくし職働～」を実施します。

（注）求人倍率が高い：仕事を探している人よりも人を求めている事業所が多いことを意味する。

「ふくし職働」

って、どんなことを
やってるの？

就職に役立つ
講座から定着に関する
フォローアップも含め、
さまざまなメニューを用意して
います。

Point 1

知識・経験の豊富な
キャリア支援専門員や大学の
先生、茨城シニアマスター等
様々な講師が丁寧に教えて
くれます。

Point 2



おしながき

1 暮れ六つ講座

就職活動や、福祉の仕事に従事する際に活かせる実践的な講座を開催します。

- ①「あがらない面接対策～面接なんて怖くない～」
- ②「履歴書・職務経歴書攻略法～ズバリ教えます～」
- ③「知っておきたい～あったか会話術・基本マナー～」
- ④「すぐ役立つ～初心者のための介護入門～」
- ⑤「適職診断で自分を探そう」

2 夕暮れしゃべり場

福祉の仕事に従事している方、また就職を希望する方等が、仕事上や求職活動上の悩み・不安・やりがい等について自由な雰囲気のもとで語り合えるサロンを開催します。

3 木(き)になる講座(木曜日開催)

正に「気(き)になる」テーマを題材に、福祉施設利用者に楽しんでもらえるレクリエーションの技術習得のために講座を開催します。

「シニアマスターに学ぶ～レクリエーション教室～」
・奇術 ・伝承昔遊び ・折り紙

4 あおぞら講座

福祉の仕事に興味・関心がある方、内容を知りたい方、就職をお考えの方を対象に、施設見学会を実施します。その際、施設職員が分かりやすく説明します。

1 暮れ六つ講座 参加者の声

■利用者様は、必ず来る自分の姿であるということ。他人事ではなく、自分のこととして相手をお願いやった関わり方を考えていこうと思います。

■「良い言葉」と「悪い言葉」の例で、ちょっとした言い方の違いで、随分印象が変わるのだと勉強になりました。

■実践を通しての研修がとても参考になりました。積み重ねが重要だなと感じました。



①暮れ六つ講座

3 木(き)になる講座

参加者の声

■レクリエーションを一緒にに行い、ためになり、楽しかったです。

■けん玉等も集中してバランスよくやるのにも遊ぶことでの楽しさがあつた。良かったです。



②夕暮れしゃべり場



③木(き)になる講座

4 あおぞら講座 参加者の声

■お年寄りのことをよく考えての施設であることを感じました。施設環境の良さに感激しました。

■施設内がとても明るく、清潔で、お風呂の機能がすばらしく進化し、便利になっているのに驚きました。

■職員の方が皆明るく、今回見学に行った施設で働きたいと思いました。

ふくし職働のこれから

ふくし職働については、9月までは日程及び内容が決まっておりますが、下半期はこれまでにやってきた中から求職者や担当いただいた講師、関係機関・団体からご意見を伺い、よりよい講座を企画していきます。ぜひご期待ください。

ふくし職働

場所：水戸市千波町 1918 総合福祉会館 5 階

開店：午後六時

閉店：午後八時

毎週：原則火・水・木（木曜日は隔週）

平成23年度事業報告

我が国では、歴史的な円高やデフレが進行し、依然として厳しい経済・雇用情勢が続いており、平成21年度から緊急雇用対策が実施されています。その中で、生活困窮状態にある離職者等への生活支援対策や、将来の成長分野として期待される福祉・介護分野の雇用確保対策など、社会福祉協議会(以下「社協」という。)の役割がますます高まり、その期待に応えていくことが求められています。

一方、地域社会や家庭のあり様が大きく変化し、人と人とのつながりが希薄になり、家庭や地域での助け合い、支え合う機能が低下し、高齢者や児童への虐待、孤立死、引きこもりなどといった深刻な課題が生じております。これらの課題に対応するため、行政や地域住民、さらにボランティアグループ、NPOなどと協働して地域社会で支えていく仕組みをつくっていくことが重要となっております。

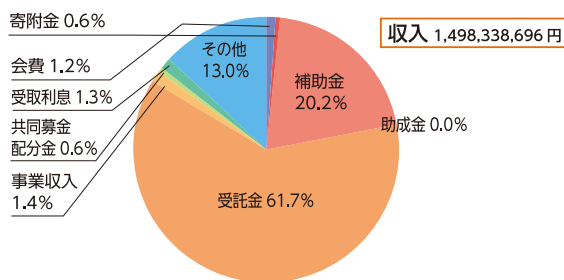
このような情勢の中、本会の事業指針である「地域福祉活動推進プラン」に基づき、県や市町村、市町村社協をはじめ、社会福祉施設及び社会福祉団体等と連携・協力を図りながら、本会の目標である県民参加と協働による「誰もが その人らしく 安心して暮ら

せる福祉社会の実現」をめざして、各種事業を総合的かつ計画的に推進いたしました。

具体的には、福祉・介護人材の育成・確保を図るため、研修・雇用一体型の事業や求職者と求人者のマッチングを進める事業、また、離職者や生活困窮者等のセーフティーネット施策として自立を支援する生活福祉資金の貸付、さらには、住民主体のまちづくりを進めるため、地域づくりの拠点としての多様なサロン活動の普及促進、ボランティア・市民活動の支援、高齢者の健康・生きがいをづくりの支援を実施してきたほか、利用者本位で福祉サービスが提供されるよう、日常生活自立支援事業、苦情解決事業、外部評価事業を実施するなど、各種事業に積極的に取り組みました。

また、平成22年度末に発生した東日本大震災については、市町村社協に設置された災害ボランティアセンターの支援、旅行会社等との共催によるボランティアバスの宮城県等への支援、市町村社協と共同での福島県いわき市社協への職員派遣、ボランティア保険の助成、市町村社協への助成、住宅全壊世帯への見舞金支給、当座の生活費を必要とする被災世帯への生活福祉資金(緊急小口資金)の貸付等を実施しました。

平成23年度一般会計決算状況

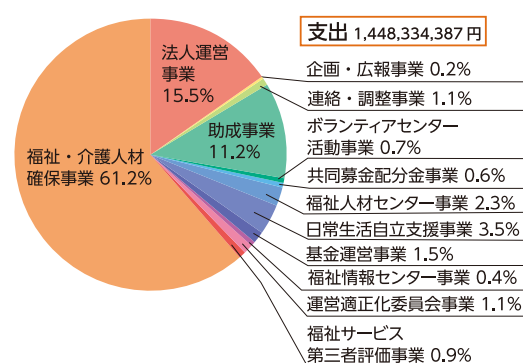


収入の部(単位:円)

名称	決算
会費	18,577,250
寄附金	8,705,895
補助金	302,078,933
助成金	500,000
受託金	923,919,009
事業収入	20,232,649
共同募金配分金	9,000,000
受取利息	20,085,792
その他	195,239,168
合計	1,498,338,696

その他収入内訳

名称	決算
負担金	11,533,800
雑収入	8,399,715
会計単位間繰入金	20,593,308
経理区分間繰入金	12,399,307
その他	19,519,658
前年度繰越金	122,792,880
合計	195,239,168



支出の部(単位:円)

名称	決算	名称	決算
法人運営事業	223,962,641	日常生活自立支援事業	50,365,242
企画・広報事業	3,212,386	基金運営事業	22,268,367
連絡・調整事業	13,332,399	福祉情報センター事業	6,260,000
助成事業	162,404,980	運営適正化委員会事業	16,252,392
ボランティアセンター運営事業	8,329,423	福祉サービス第三者評価事業	12,840,000
共同募金配分金事業	9,290,000	福祉・介護人材確保事業	886,080,802
福祉人材センター事業	33,725,755		
合計	1,448,334,387		

「第62回茨城県社会福祉大会」開催のお知らせ

■日時 平成24年10月26日(金)
12時20分(受付11時45分から)

■場所 常陸太田市民交流センター
「バルティホール」(大ホール)

■日程 オープニング
「寸劇と踊り」
常陸太田市社会福祉協議会
多機能福祉サービス第一事業所「つばさ」

記念講演
「私の介護」～荒木由美子が語る愛と感動の家族物語～
講師:タレント 荒木 由美子氏

式典
社会福祉功労者などを県知事、県社会福祉協議会長、
県共同募金会長が表彰します。

大会はどなたでも参加できますので、お問い合わせください。

■参加問い合わせ
社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 企画室まで
TEL 029-241-1133(代表)



潜在的有資格者再就職促進事業のご案内

～福祉の仕事を体験してみませんか～

福祉や介護に関心を持つ方に、社会福祉施設等で福祉・介護の職場体験の場を提供し、実際の職場の雰囲気やサービス内容などを直接知っていただくことで円滑な就職を支援します。

福祉の仕事に
関心がある方
ぜひ参加して
みてください!



- 1) 参加要件 福祉・介護に関心のある方
- 2) 体験期間 1人10日間以内(1日6時間程度)
- 3) 参加費 無料
(食事代、交通費、被服費等は自己負担)

福祉職場2012フェスティバルを開催

福祉の仕事や職場を理解していただくことを目的に、7月29日(日)、茨城県総合福祉会館において「福祉職場2012フェスティバル」を開催しました。

当日は、会場の1、2階及び屋外を利用し、福祉の仕事・職場、介護福祉士養成校等の紹介コーナー、福祉機器や競技用車いす等の展示コーナー、車いすバスケットボールの体験コーナーなどを設置いたしました。

1階コミュニティホールでは、竜ヶ崎二高ダンス部によるアトラクションで幕を開け、続いての「福祉・介護を語ろう!」スピーチコンテストでは、事前のスピーチ原稿による審査を経た10名の方から発表いただきました。最後は、フォークシンガーで白鷺大学の教授でもある山本コウタロー氏による「すべての子供たちにあらゆる可能性がひろがる社会を目指して」と題した講演とミニライブを実施し、約500名の方々に集まりいただきました。



福祉の仕事紹介コーナーの様子



車いすバスケットボール体験の様子

受審
しましよ

福祉サービス質の向上に向けて

福祉サービス提供者は、常に利用者の立場に立った、良質かつ適切な福祉サービスの提供に努める必要があります。

そのため本会では、福祉サービスの質について、公正かつ中立な評価を行い、サービス提供者の福祉サービスの質の向上に対する取り組みについて支援するとともに、評価結果を公表することにより、利用者がより適切に福祉サービスを選択できるよう、福祉サービス第三者評価事業及びグループホーム外部評価事業を推進しております。

注1) 福祉サービス第三者評価事業対象事業所
保育所、知的障害者更生施設、指定介護老人福祉施設、
介護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス 等
※社会的養護関係施設(児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設)の第三者評価については、3年に1度の受審が今年度より義務化されました。本会では、実施に向けて準備中です。案内までお待ちください。

注2) グループホーム外部評価事業対象事業所
認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所

■問い合わせ先

茨城県社会福祉協議会 福祉事業部
TEL 029-241-1133



新設福祉施設の紹介 平成24年6月1日～平成24年7月31日までの開設

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム もりの家サテライト	社会福祉法人 霞桜会	定員／29名	〒300-0844 土浦市乙戸233番1	029-886-9080
特別養護老人ホーム みのりの森	社会福祉法人 若葉会	定員／29名	〒319-2214 常陸大宮市鷹巣2243番地の1	0295-53-7878
特別養護老人ホーム サングリーンピア大宮	社会福祉法人 清河会	定員／29名	〒319-2222 常陸大宮市若林1723番15	0295-55-8855

わかち合おう小さな善意

平成24年5月～平成24年7月善意金等の
預託と払い出し状況（敬称略）

ボランティア基金

預託者名	金額（円）
(株)業電社	9,445
合 計	9,445

善意金

預託者名	金額（円）
茨城県遊技業防犯協力会	1,000,000
合 計	1,000,000

交通遺児福祉基金

預託者名	金額（円）
一般財団法人 関東陸運振興センター	1,000,000
合 計	1,000,000

善意品

預託者名	善意品	払出先名
清水建設株式会社 関東支店 茨城営業所	タオル 約311枚	茨城県社会福祉協議会
日産労連 茨城地方協議会	チャリティーきやらばん 357名	団体・社会福祉団体 社会福祉施設
日産プリンス 茨城販売株式会社	車イス 11台	社会福祉施設

使用済み切手・使用済テレホンカード等

預託者名	預託者名
・茨城県保健福祉部 長寿福祉課	・筑波銀行従業員組合
・茨城県保健福祉部 障害福祉課	・高柳美幸 高柳真美 眞子勉
・茨城県保健福祉部 福祉指導課	・(有)富谷ゴム工業
・訪問介護サービス事業所 森のクマさん水戸店	・社団法人茨城県母子 寡婦福祉連合会
・株式会社サンアメニティ 茨城支社	

県内社会福祉協議会（水戸市、取手市、日立市、神栖市、鉾田市、つくばみらい市、利根町、坂東市、阿見町、小美玉市、古河市、常陸太田市、土浦市）

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業
「施設職員等研修ガイド」（平成24年9月～12月開催予定分）

9月	18日	社会福祉施設等中堅職員研修A-①
	25日	保育所保健担当者研修
	26日	社会福祉施設等中堅職員研修A-②
10月	2～3日	OJT研修Bコース
	23～24日	コーチングスキル研修Aコース
	30～31日	リスクマネジメント研修Aコース
11月	1～2日	相談業務担当者研修
	6日	保育所特別研修
	27～28日	コーチングスキル研修Bコース



現在、私は実家で両親と私の3人で生活しています。私は一人娘であり、両親が年齢を重ねていくにつれ、両親の介護の不安を感じるようになってきました。

もし、介護が必要になっても家族3人、実家で一緒に生活することが、私の希望でもあり両親の希望でもあるため、現在の仕事をしながら、ゆとりのある時に家庭介護の勉強をしたいと考えています。
どのようなところで勉強できますか。



介護が必要になっても家で一緒に生活することを考えているとの事で、ご両親も安心されていることと思います。介護の勉強をすることで、介護する側もされる側もお互いに負担が軽減されます。さて、家庭介護の勉強ですが、茨城県長寿福祉課（029-301-3326）で地域介護ヘルパー研修を、茨城県介護実習・普及センター（029-241-6939）では家族介護の研修を、また市町村地域包括支援センター・在宅介護支援センターでは地域独自の介護教室が開かれたりしています。勉強後は施設へのボランティア等を通して実際に関することで更に勉強になると思います。介護は家族だけでと考えると頑張り過ぎると負担が大きくなるかと思いますが、市町村高齢福祉担当課等で、地域の介護サービスの情報を得ながら、生活状況に合わせて社会資源等の利用も考えていただければと思います。

はい！
福祉相談
です！

社協職員リレートーク

Relay Talk Vo.2

日々精進してますか？

筑西市社会福祉協議会 大類 勝也

私は、見かけによらず(?) バイクが大好き。走行中の風から季節を感じられる事はもちろん、マシンと一体化する感覚は2輪ならではの魅力です。普通は逆だと思いますが、同じ場所へ移動するにも、車よりバイクで移動する方が楽と感じます。何よりも、私が現在の「社協マン」となるベースを育ててくれたという事も、私がバイクを愛する理由の一つです。

高校1年の夏休み、茨城県社協主催のボランティアイベント参加を機に「もっと色々な活動に参加したい」と考えて、バイトを経て中型バイクを購入したのが最初。当時は【3ナイ運動】全盛期で、「単車に乗っている＝ダメ人間」と見られてしまう時代でしたが、おかげで高校生としては珍しいと思うほど多くの人と出会い・刺激を受け、私が社協マンを目指すきっかけとなりました。言うなれば、バイクに乗っていないければ、現在の自分は存在しないと断言できるほど。就職等を機に離れていましたが、8年前に復帰。震災時には

その機動性と燃費(30km/L)が大活躍したこともあり、バイクは生活に欠かせない相棒となっています。

そんなバイクライフですが、積載性を無視した妻の物資調達指令が唯一の課題。先日外出中に「ネギと米(20kg)と卵と牛乳8本ね」という指令を受信。「これはバイクで買う量か!？」と戸惑いつつ、指が勝手に「分かりました」と返信。数十分後、左右のハンドルに買物袋を下げ、お米で限界まで膨らんだバックにネギを刺して疾走する滑稽なライダーの姿がありました。嗚呼、道行く方々の視線がなんて痛い。更に、見ず知らずの小学生達から「がんばれよ〜!」という声援まで頂いて、色々な意味で涙が出そうです。

なお、今回のタイトルは長男(10)が、私の肩をポンッと叩いて放った言葉。周囲はもちろん、家族の私に対する評価に少々不安を感じる日々ですが、いつかは日本全国をバイクで旅したい。その夢実現に向けて、社協マンとして、主夫として、文字通り「日々精進」していきたいと思っています。

*次は、多才なスキルと人柄を尊敬している、ミスター武士道こと、下妻市社協の栗原くんにつなぎます。



学生時代、出会った仲間とバイクを囲んで

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランで、死亡1,400万円、入院7,000円、通院4,100円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索



特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間	基本タイプ	Aプラン...	280円	Bプラン...	420円
保険料	天災タイプ	Aプラン...	490円	Bプラン...	720円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社





水戸市河和田町

いばらき保健福祉友の会

「高齢者の住宅改修は給付が受けられるんですよ」「そうなんですか!」…お茶とお茶菓子をいただきながら和やかに進む、在宅介護をしている介護者の交流の会『たまり場・やまゆり』でのワンシーンです。

「たまり場」とは、住み慣れた地域で、みんなの助けを借りて、誇り高く生きるために』を合言葉に、地域の方が気軽ににお喋りできる“場”をつくる活動です。友の会会員の方が主宰者となり、事務局が会場を借り受け、会場の管理・利用の窓口になって活動を行っています」とは、今回ご紹介する『いばらき保健福祉友の会』、事務局の川崎さん。

「最初の“たまり場”ができたのは、2008年のこと

です。友の会では以前より、会員さんの高齢化に伴って、会員さんに何をし
てあげられるのか、という話が出てい
ました。また

同時に、地域ごとに会員さんの班を作りたい、という
考えもあったんです。そして、2007年に行なわれた友
の会会員の集いで、茨城大学の長谷川幸介先生を講
師に迎えた講演会で“生活の場で生き抜くネットワ
ーク作りが今後問題となる”という問題提起を受け、そ
れらが総合的にまとめ“たまり場”構想へと発展し
ていきました」。そこで友の会は、会員向けの機関紙
などを通して“たまり場”作りを会員へ呼びかけます。
それに最初に応えたのは、一人暮らしの年配の女性で
した。「遠くにお嫁に行った娘さんの後押しもあって、

自宅の一室を
“たまり場”とし
て提供すること
に同意してくれ
たんです。今後
のことも考え、
近所の方々と
お喋りできる
場があればそれを

きっかけにお付き合いも深まるから、ということでした」。そのようにして、たまり場は増えていきますが、全てが順調という訳ではありませんでした。「知らない人が家の中を出入りすることにご家族が難色を示し、やっぱり出来ません…となってしまうケースも多々ありました。今ある“たまり場”はそれらを乗り越えて来たものなんです」。

現在は、水戸市内に7ヶ所の“たまり場”があります。「今後は“たまり場”を増やすことより一つひとつを充実させ、今まで裏方であまり存在感を示してこなかった友の会の存在感をもう少し出していけたら、と考えています」と川崎さん。会員さんと共に、新たな一歩を歩みだそうとしている、いばらき保健福祉友の会です。



いばらきの社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



環境に配慮して再生紙と大豆油インキを使用しています

発行者

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会

〒310-0586 水戸市千波町1918

TEL.029(241)1133(代) FAX.029(241)1434

<http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>

E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp



携帯電話で読み取るだけで簡単に「茨城県社協HP」にアクセスできます